



# 2020年度 決算説明会

株式会社 YE DIGITAL

# 2020年度決算 2021年度計画

# 2020年度事業別の概要

## 2020年度決算

- コロナ禍での緊急事態宣言により社会経済活動が制限される中、いち早くテレワークを導入。場所にとらわれない開発体制の構築、Web会議を活用した営業活動等、事業活動を停滞させることなく強力に推進。
- 2020年6月に新本社（北九州市小倉北区）に移転。刷新されたオフィス環境で更なる事業拡大、生産性や収益性の向上に注力。
- 政府主導による教育現場のリモート・ICT環境構築の促進需要を着実に捉え、学校向けインターネット・セキュリティ関連製品の大幅なシェア拡大。
- 売上高は、144億81百万円（対連結会計年度比5.0%増）  
利益面では、営業利益9億21百万円（同57.6%増）、経常利益8億17百万円（同39.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6億41百万円（同69.6%増）

## 2021年度予想

- 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものと思われるが、社会経済活動の制限も段階的に緩和され、景気の持ち直しが期待される。
- 市場や顧客ニーズを的確に捉え、生産性向上活動の継続により、前年比増収増益を目指す。
- 売上高は、145億円（対連結会計年度比0.2%増）  
利益面では、営業利益10億円（同8.5%増）、経常利益8億50百万円（同4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5億50百万円（同14.2%減）

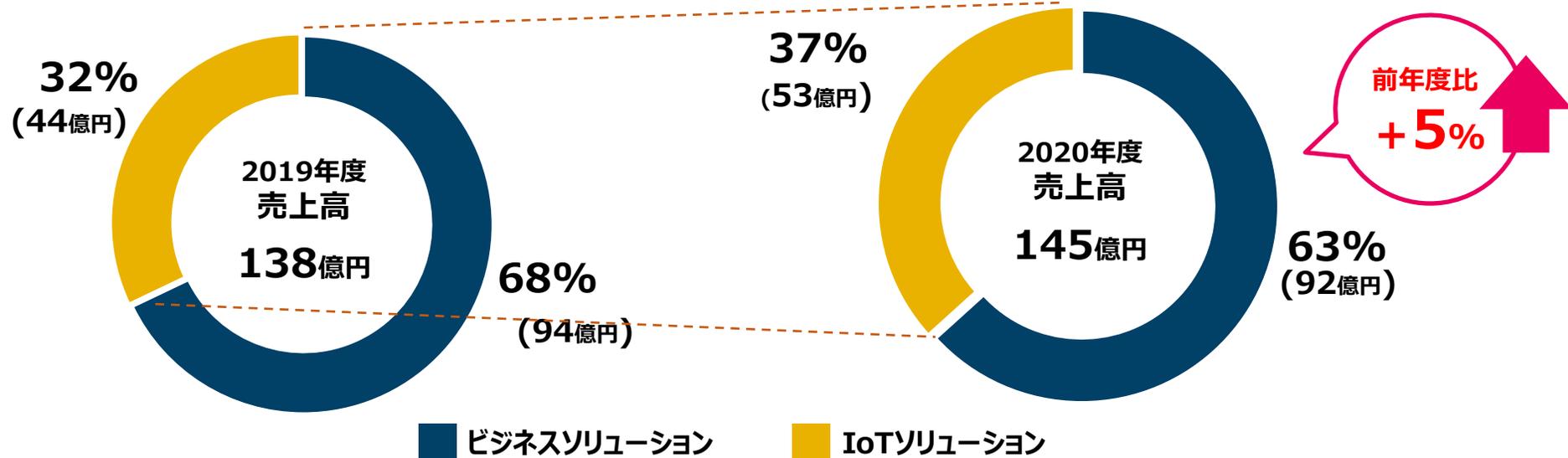
# 2020年度事業別の概要

## ビジネスソリューション

- ・企業向け基幹システム構築は前年度に比べ増加
- ・健康保険者向けシステム構築、移動体通信事業者向けシステム構築は堅調
- ・ERPソリューションは前年度を下回る
- ・売上高は91億56百万円（対連結会計年度比2.2%減）

## IoTソリューション

- ・医療機器向け等の組込ソフト開発は前年度に比べ減少
- ・AI・IoT関連ではスマートロジスティクスを中心に前年度を上回る
- ・インターネット・セキュリティ関連製品では教育現場におけるICT機器導入の需要増により前年度を大幅に上回る
- ・売上高は53億25百万円（対連結会計年度比20.3%増）



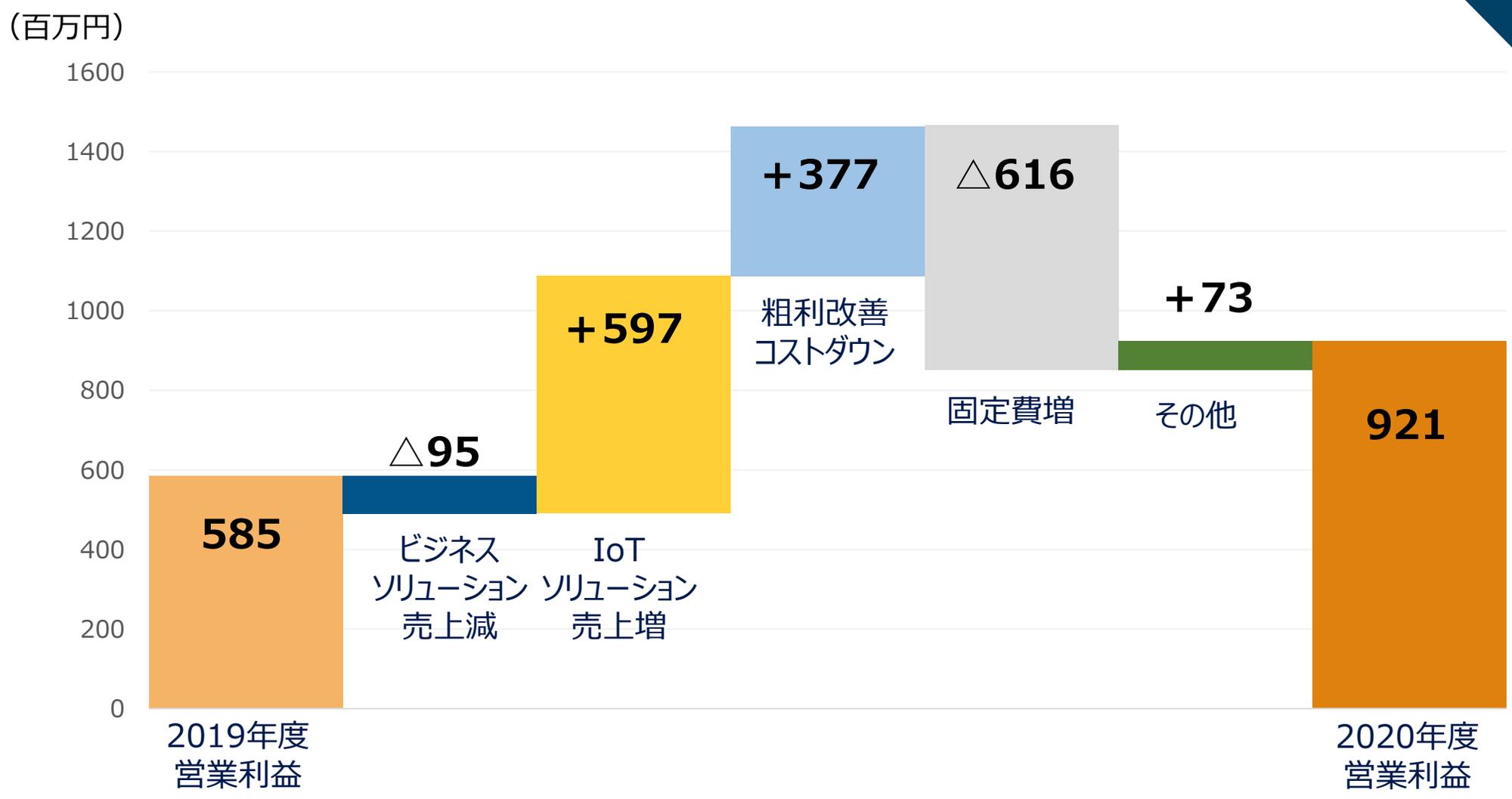
# 2020年度実績

コロナ禍による社会経済活動が制限された中においても、増収増益を達成

単位：百万円

	2020年度実績	2019年度実績	増減 (%)
売上高	14,481	13,794	+ 5.0%
うち ビジネスソリューション	9,156	9,366	△2.2%
うち IoTソリューション	5,325	4,427	+ 20.3%
営業利益	921	585	+ 57.6%
経常利益	817	585	+ 39.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	641	378	+ 69.6%
1株当たり当期純利益金額：円	35.37	20.88	+14.49
年間配当金（うち中間配当金）	8円(3円)	6円(3円)	+2円(-)

# 営業利益増減要因分析 (2019-2020)



# 2021年度の取り組み

19-21中期経営計画の最終年度として、「成長できる会社」の実現に向け、積極的な活動と果敢なチャレンジにより、次期中期経営計画へつなげていく

## ビジネスソリューション

- ・ YDX（YASKAWA digital transformation）の確実な遂行
- ・ 「ビジネスDX」（ホワイトカラー業務における労働生産性向上）の拡大
- ・ 他社との共創によるERP事業の拡大
- ・ 健康保険者向けシステム事業の体制および営業力の強化による受注拡大

## IoTソリューション

- ・ ソーシャルIoT（社会の課題解決に繋がるIoT）の加速
- ・ スマートロジスティクス事業の拡大（MMLogiFrameの製品リリースによる拡大）
- ・ デジタルマーケティング戦略の活用強化
- ・ 情報セキュリティ事業の利益確保

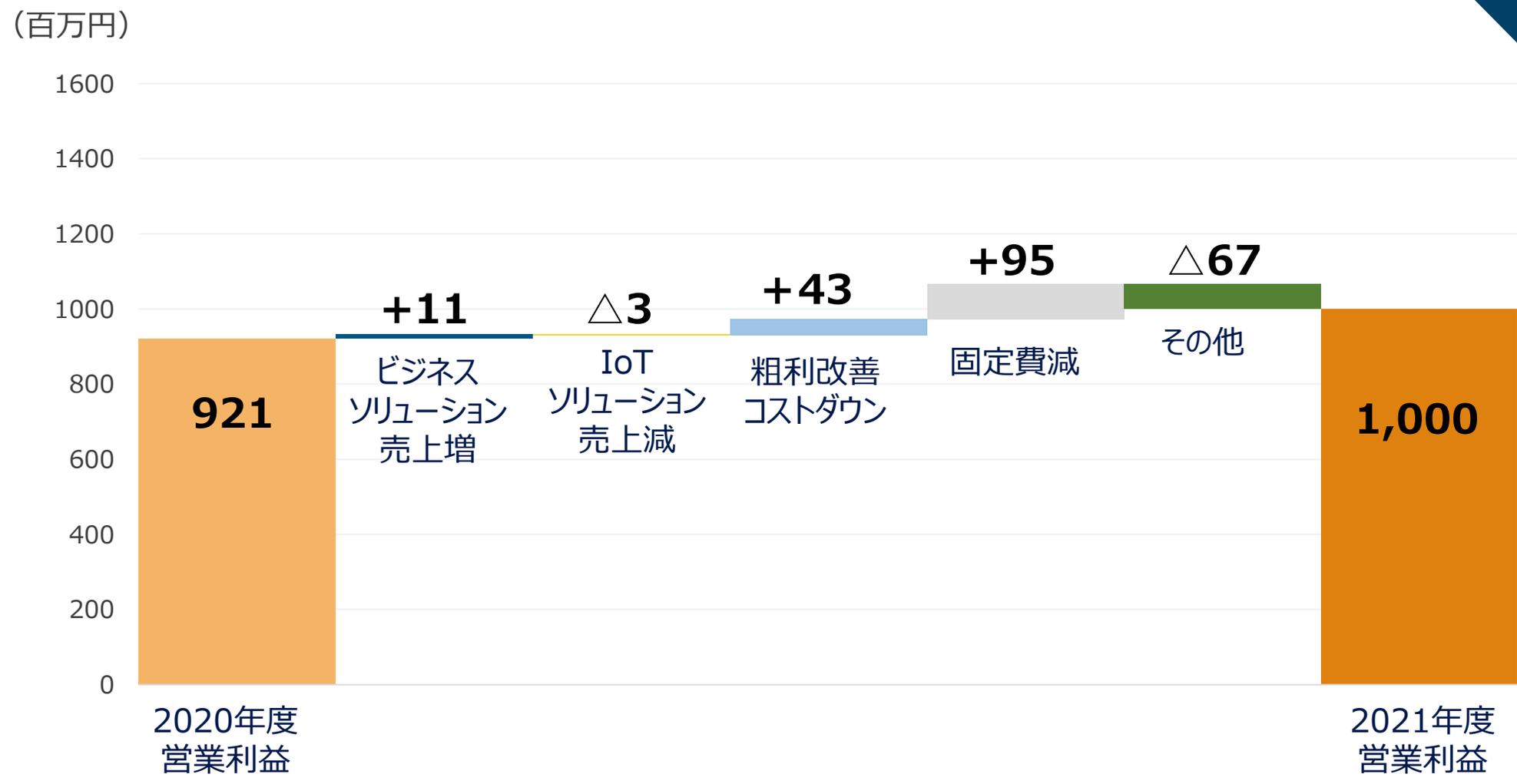
# 2021年度 通期業績見通し

市場や顧客ニーズを的確に捉え、生産性向上活動の継続により、前年比増収増益を目指す

単位：百万円

	2021年度計画	2020年度実績	増減 (%)
売上高	14,500	14,481	+0.1%
うち ビジネスソリューション	9,180	9,156	+0.3%
うち IoTソリューション	5,320	5,325	△0.1%
営業利益	1,000	921	+8.5%
経常利益	850	817	+4.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	550	641	△14.2%
1株当たり当期純利益金額：円	30.34	35.37	△5.03
年間配当金（うち中間配当金）	10円(5円)	8円(3円)	+2円(+2円)

# 営業利益増減要因分析 (2020~2021)



# 当社の経営状況と 中期経営計画遂行状況

# 19-21中期経営計画 基本方針

## 2019-2021 中期経営計画 「デジタル社会のリーディングカンパニー」

### 基本方針

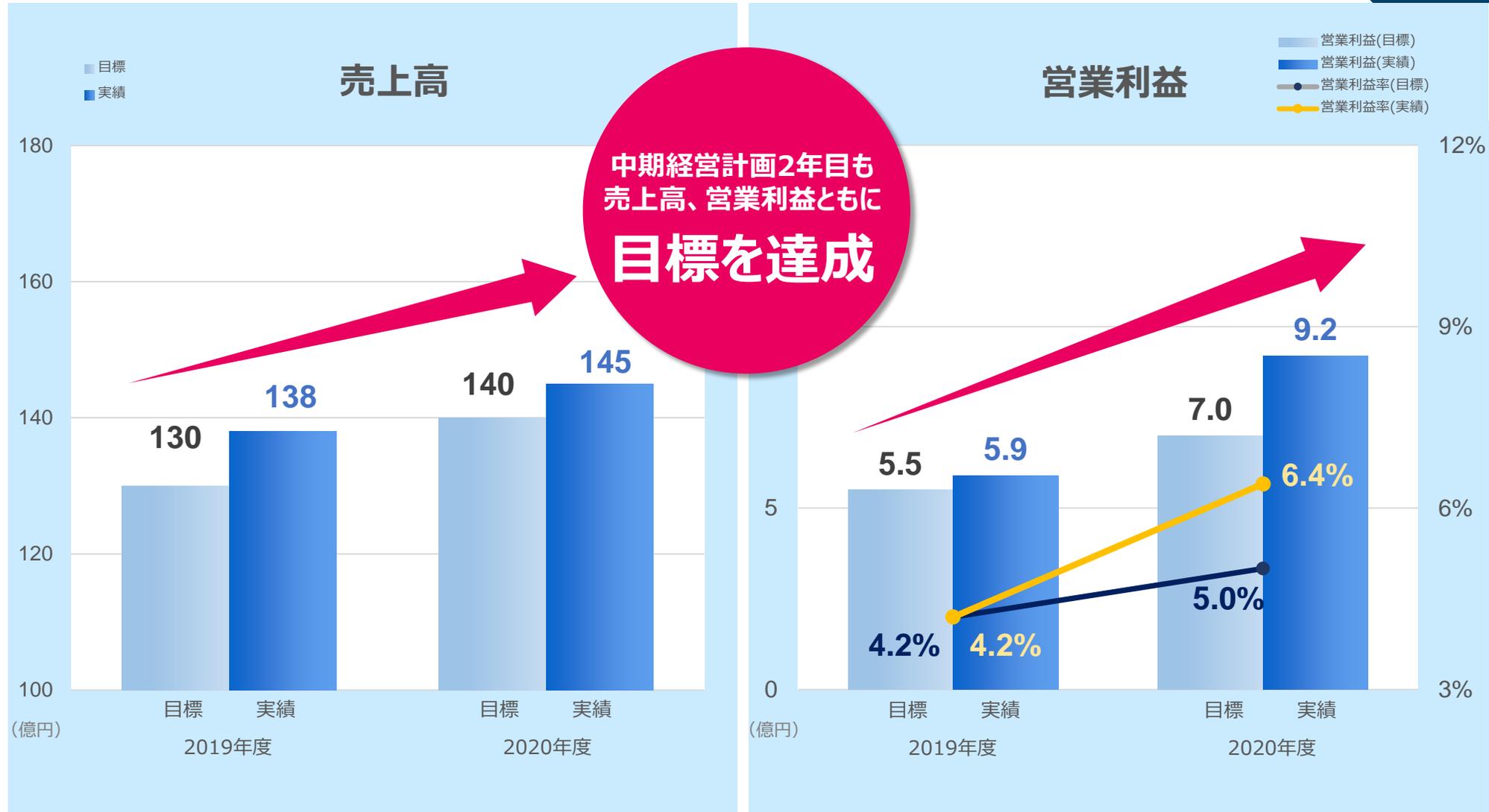
デジタル・トランスフォーメーションが加速していく中、当社は、新生「YE DIGITAL」として、お客様や社会のデジタルソリューションを実現するブランド企業の地位を確固たるものとするため、成長・収益・経営の3つの基盤強化を図り、躍進します。

- 方針 1. 基幹事業における収益力の拡大強化
- 方針 2. 中核事業における成長路線の追求
- 方針 3. サービス事業における安定的・高収益ビジネスの確立
- 方針 4. 事業活動を支える経営基盤の充実



# 19-21中期経営計画 遂行状況

定量的



# 19-21中期経営計画 遂行状況 定性的

## 取り組みの成果

### 方針1. 基幹事業における収益力の拡大強化

物流

スマートロジスティクス事業として体制をシフト。

ビジネスDX

安川電機のDX導入・支援を行う中で、**プライム力をレベルアップ**。社外より評価を得る。

SIシステム構築

**不採算事業を縮小**。健康保険者向けシステム構築で **案件開拓による売上・利益拡大**。

### 方針2. 中核事業における成長路線の追求

プロモーション活動の強化、リードナーチャリング推進など、**積極的なマーケティング活動により、AI/IoT分野のキープロダクトの売上の拡大**を図ることができた。

AI/IoT

**食品加工分野**をはじめ **売上拡大**。

学校セキュリティ

GIGAスクール構想の需要を捉え、学校向けインターネットセキュリティ製品の **シェア拡大**。

# 19-21中期経営計画 遂行状況

定性的

## 取り組みの成果

### 方針3. サービス事業における安定かつ高収益ビジネスの確立

**ストック化**

ITカスタマサービスセンター「Smart Service AQUA」の活用拡大。**売上比率48%※に拡大。**※YE DIGITAL単独

**顧客開拓**

サービスのワントップ提供（ユニファイドサービス）を開始。**サービス事業として独自顧客を開拓。**

**採算性向上**

サービス提供の拡充・効率化により、**総限界利益率が向上。**

### 方針4. 事業活動を支える経営基盤の充実

積極的なIT化推進・セキュリティ強化をすすめていたことで、**新型コロナウイルス感染症の影響を最小**に。さらに、さまざまな取り組みにおいて**プラスの効果**を得ることができた。

**どこでもオフィス**

テレワークなど、場所を問わない働き方が定着し、**緊急事態宣言下も安全に業務を継続**できた。

**生産性向上**

情報共有・マーケティング・営業など様々なツールの活用で**生産性が向上**。**定常業務の削減**も進んだ。

**採算性確保**

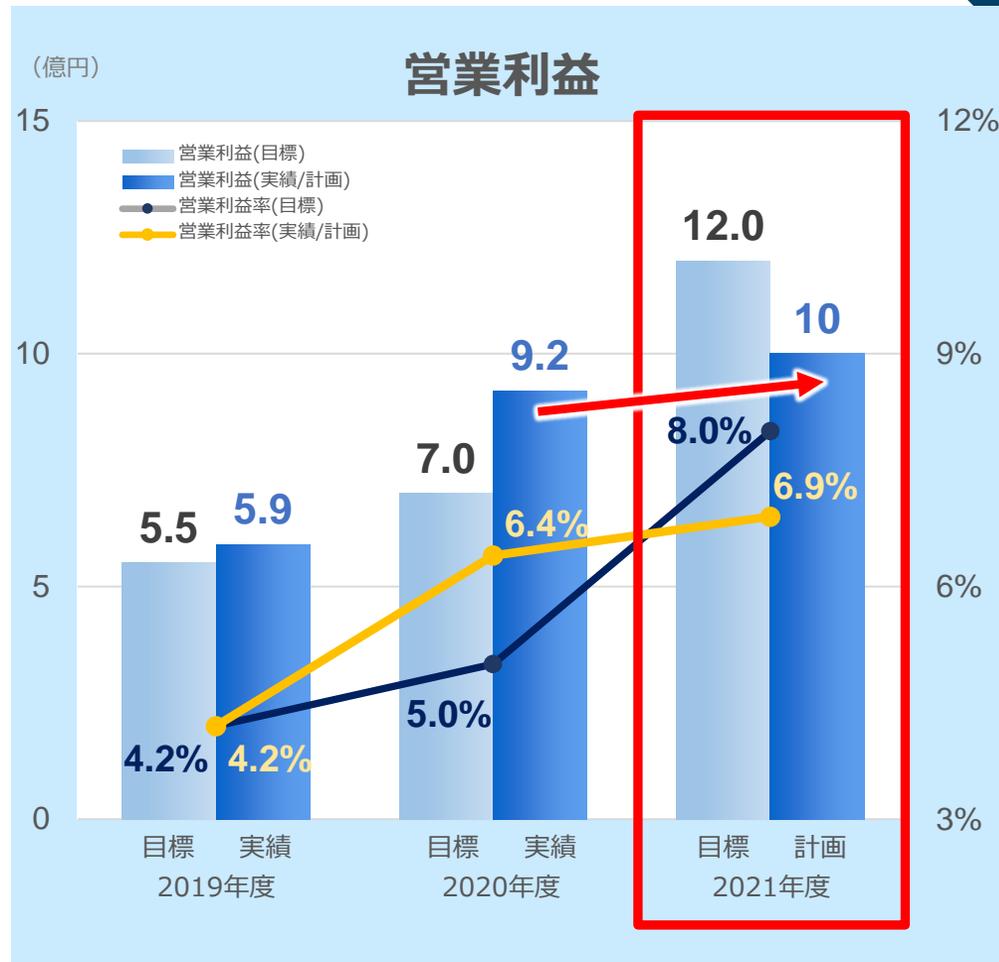
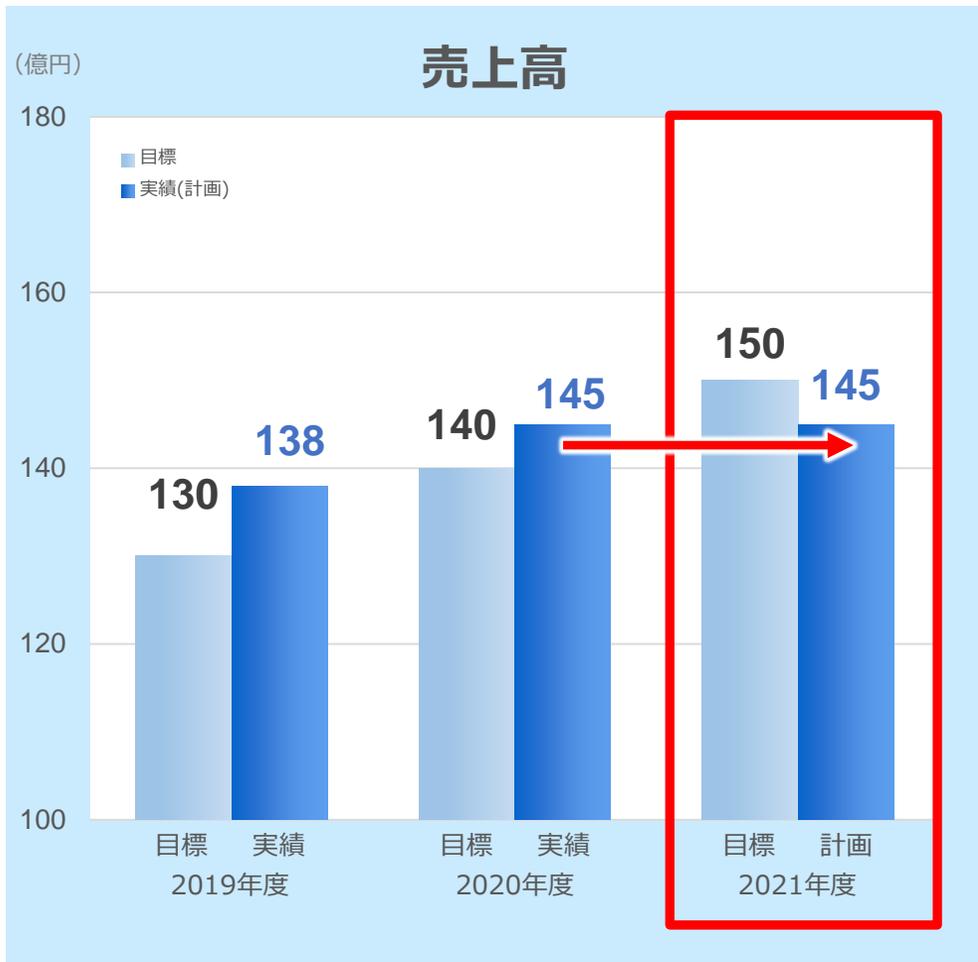
不採算プロジェクトの発生を予防するため、**全社プロジェクト管理を強化**。

最終年度

# 21年度計画

成長を止めない！

20年度、新型コロナウイルス感染症の影響で新規顧客開拓が一時停滞したものの、下期には復調。ですが、21年度計画への影響は免れませんでした。  
 21年度、中期経営計画は未達となりますが、これまでの成長を止めない・次中計につなげる年といたします。



最終年度

# 21年度計画

達成を支えるキーコンポーネント



## 重点取り組み

# 2022-2024 新中期経営計画に向けた チャレンジ加速

“200億円企業を目指して”

注力分野・目標を明確にし、  
取り組みを強化して参ります。

## Challenge

見えてきた2024年に200億円企業実現の道を確認たるものとするため、  
今期から準備を進めます。

### 既存エリアの拡大

- “ソーシャルIoT”事業拡大
- 地域“ビジネスDX”支援で事業拡大

### 新規事業の創出

- 新たな“成長ビジネス”発掘

## 重点取り組み

# “ソーシャルIoT”事業拡大①

## LPWA遠隔監視サービスの拡大 ~JA向け~

全国に20万台基といわれるビニールハウスの燃料タンク市場におけるシェアNo.1を目指す。



### JA西都の事例が大好評

今まであきらめていた  
タンクの遠隔監視を  
LPWAで安価に実現！

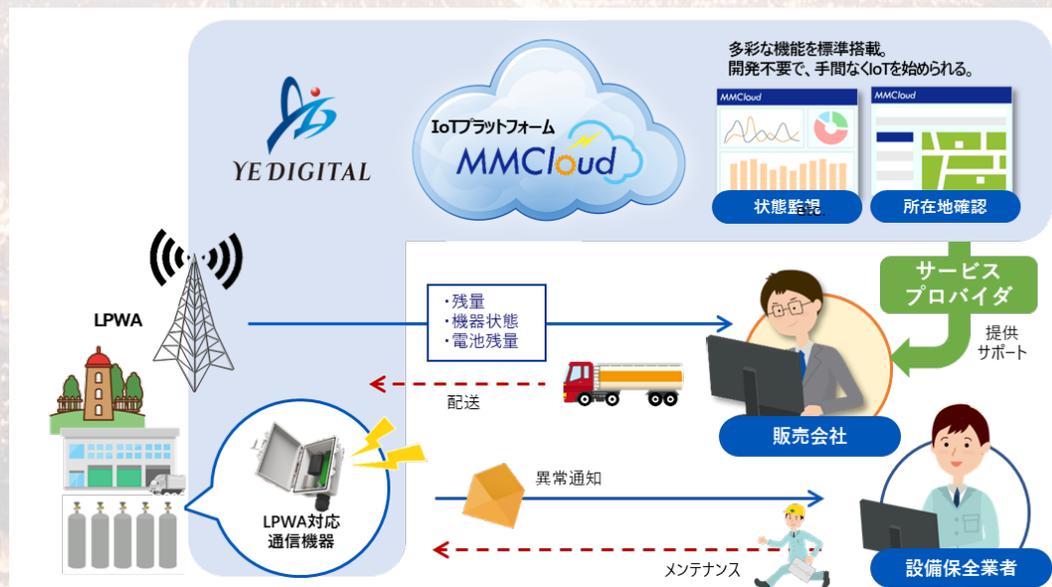
農業分野に向けた  
協業体制を強化

## LPWA遠隔監視サービスの拡大 ~新規市場~

農場で使われる飼料タンクや産業ガスのタンクなどの監視に、JA西都の事例を展開。

数十万台規模の  
ポテンシャルが  
見込める市場へ

パートナー戦略で  
複数市場に向けて  
同時展開を図る。



## スマートバス停、成長期へ押し上げ

### 導入事業者増加

5事業者から今春には15業者に。  
“国交省補助金”対象を追い風に  
自治体主導の導入を支援。



### 導入規模拡大

試験導入から路線「まるごと」導入へ

- 北九州空港シャトルバス2路線全線に導入

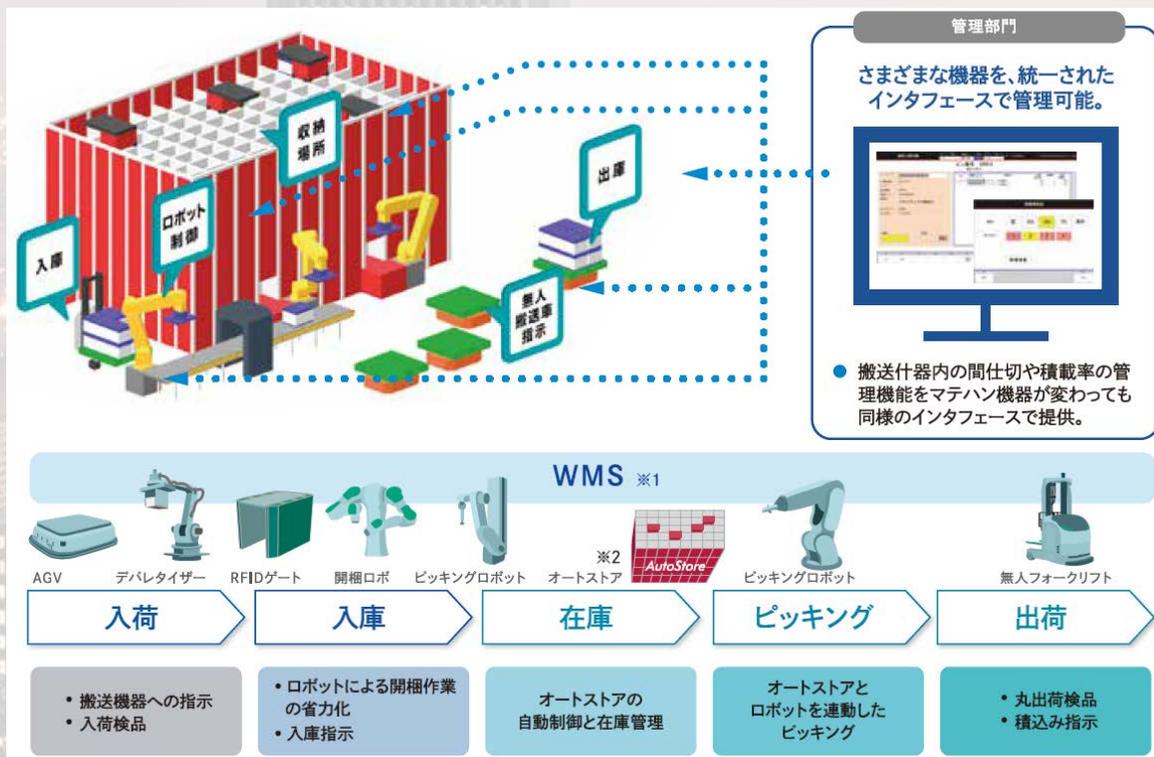
### 業種拡大

「バス停」を超え“まちづくり”へ

- 博多の商業・オフィスビル
- 埼玉県「あさかりードタウン」



## スマートロジスティクス事業の拡大



お客様の作業フローに合わせ  
オペレーションをデザインする

ネットショップ利用増で  
活性化する物流業界。

これまでスマート化の  
課題だった以下を解決。

- 納入までに時間がかかる
- 自由度が少ない

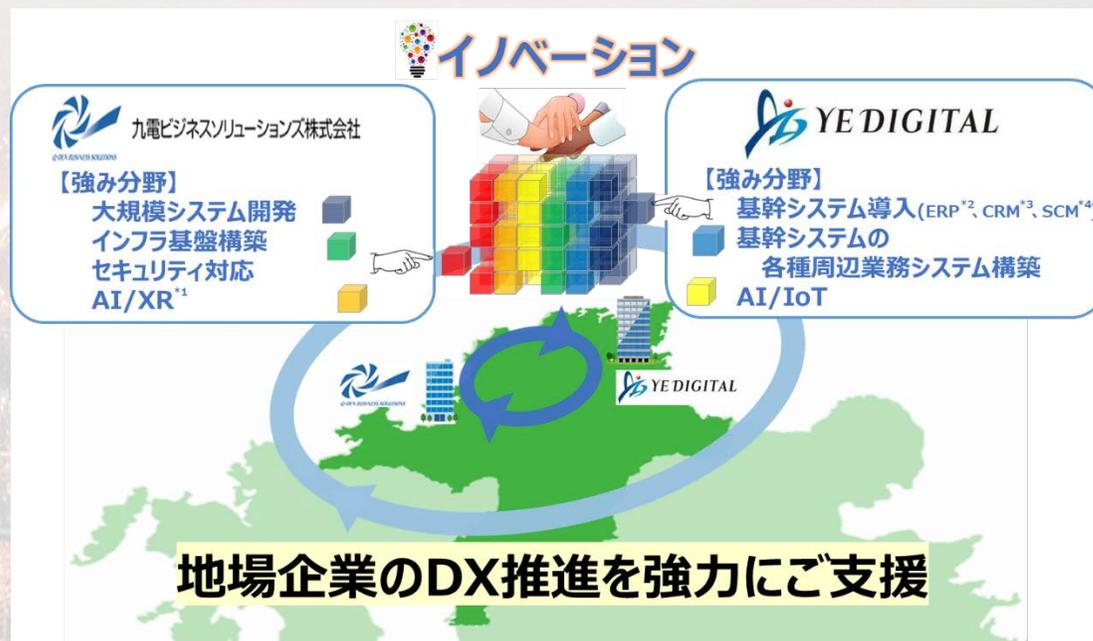
## 重点取り組み

# 地域の“ビジネスDX”支援で事業拡大①

## 九州の企業連合でDXを支援

九州で活躍する様々な強みのある企業との協業を推進することで地域DX推進スキームを構築し、ビジネスDX事業の拡大を図ります。

2020年12月に  
九電ビジネスソリューション様との  
協業を発表



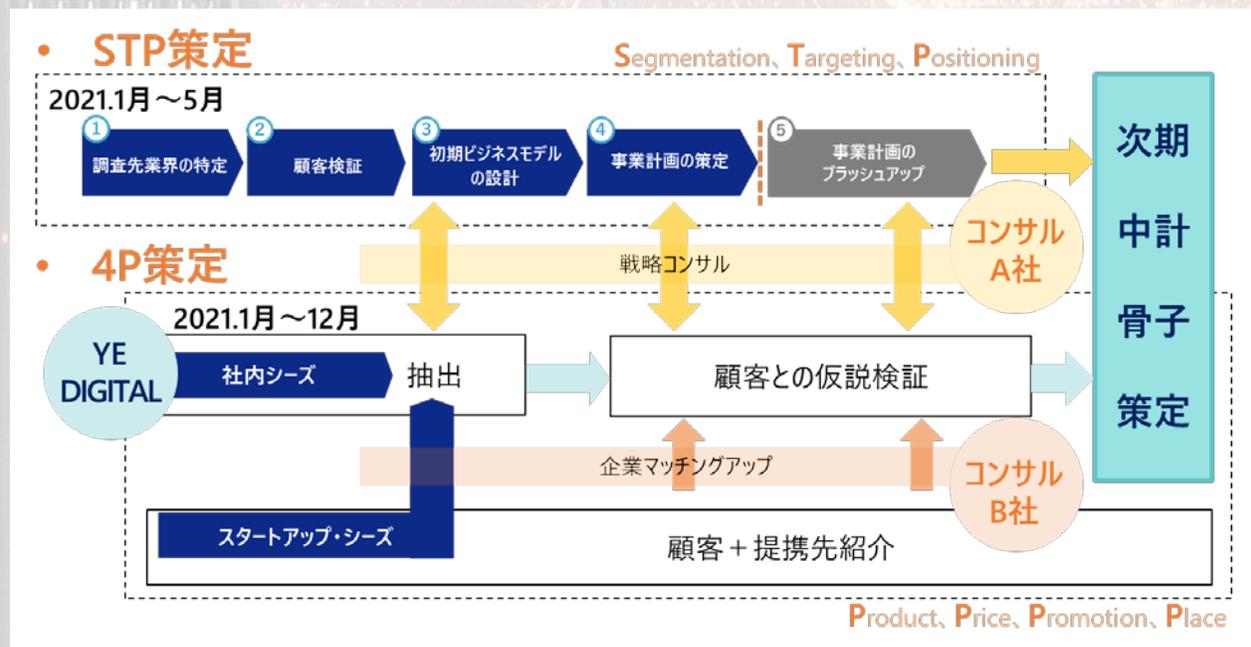
## 自治体による中小企業のDX支援をサポート

自治体が支援し導入したツールの活用状況を把握し、適切なフォローができる仕組みを提供し、導入効果を生むトランスフォーメーションを支援。



## スタートダッシュに向け今期中に戦略を明確化

現場が見えている取り組みに注力する一方で、次なる成長エンジン発掘および戦略策定をマーケティングにて実施。





# 戰略的事業(AI·IoT事業)

# ソーシャルIoT

“工場から社会へ”

創業

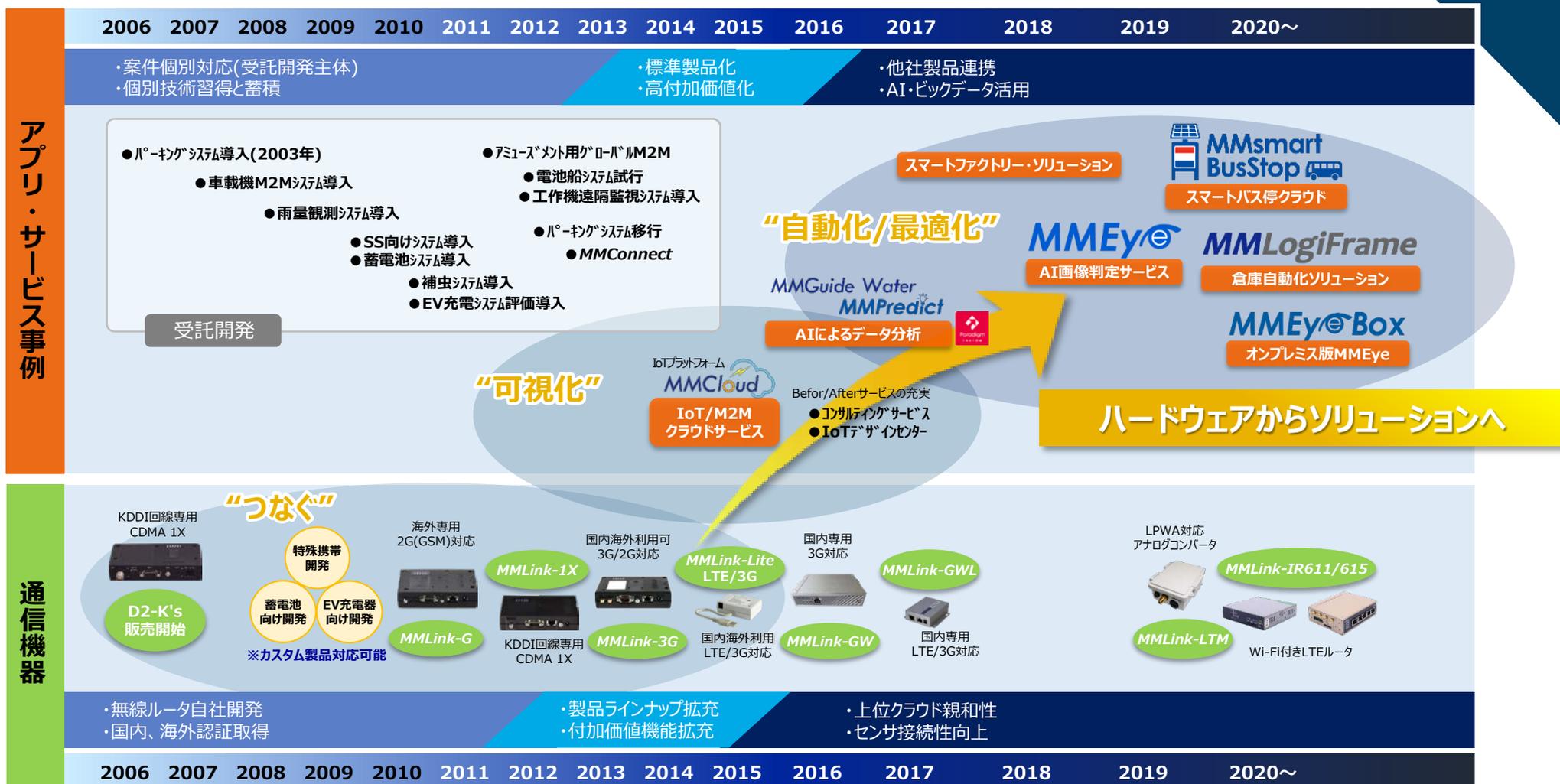
製造業のシステム化  
製品のIT化

ものづくりのIoT化

ソーシャルIoT

# IoT分野の歩み

## 2006年 M2Mの“つなぐ”から始まり、“可視化”を経て、“自動化/最適化”へ成長拡大



# ソーシャルIoT 重点取り組み分野



# スマートロジスティクス事業

## 事業コンセプト

長年培ってきた制御技術とデジタル化技術を武器に、倉庫内物流の自動化を一気通貫で実現！

**2 デパライズ・入庫**

- バース連携による搬送ロボット予約
- バラ品入庫のためのロボット連携



**3 保管**

- 既存設備との容易な接続
- 新しい機器との連携



**1 自動運転・デバンニング**   **6 バンニング**

- トラック運行状況の事前共有
- 積荷情報の事前共有




**4 ピッキング**

- 機器の特性に合わせた作業指示
- 出荷時間に合わせた最適な指示



**5 仕分け・梱包・パレタイズ**

- トラックの運行状況に合わせた最適な積荷準備
- 積荷情報の配送業者連携



※写真はイメージです。

# スマートロジスティクス事業

## 優位性

スモールスタート可能

ステップを踏んで段階的・試行的に取り組みたいお客様に最適！

### Step1

まずは平置き(ラック)のみでスモールスタート！

固定ラック



出荷梱包



### Step2

AutoStoreを導入。歩行を減らして省人化へ

固定ラック



AutoStore



出荷梱包



### Step3

ロボットピッキング&AGV搬送を導入。  
ピッキング自動化へ

固定ラック



AutoStore



AGV



ロボットピッキング



出荷梱包



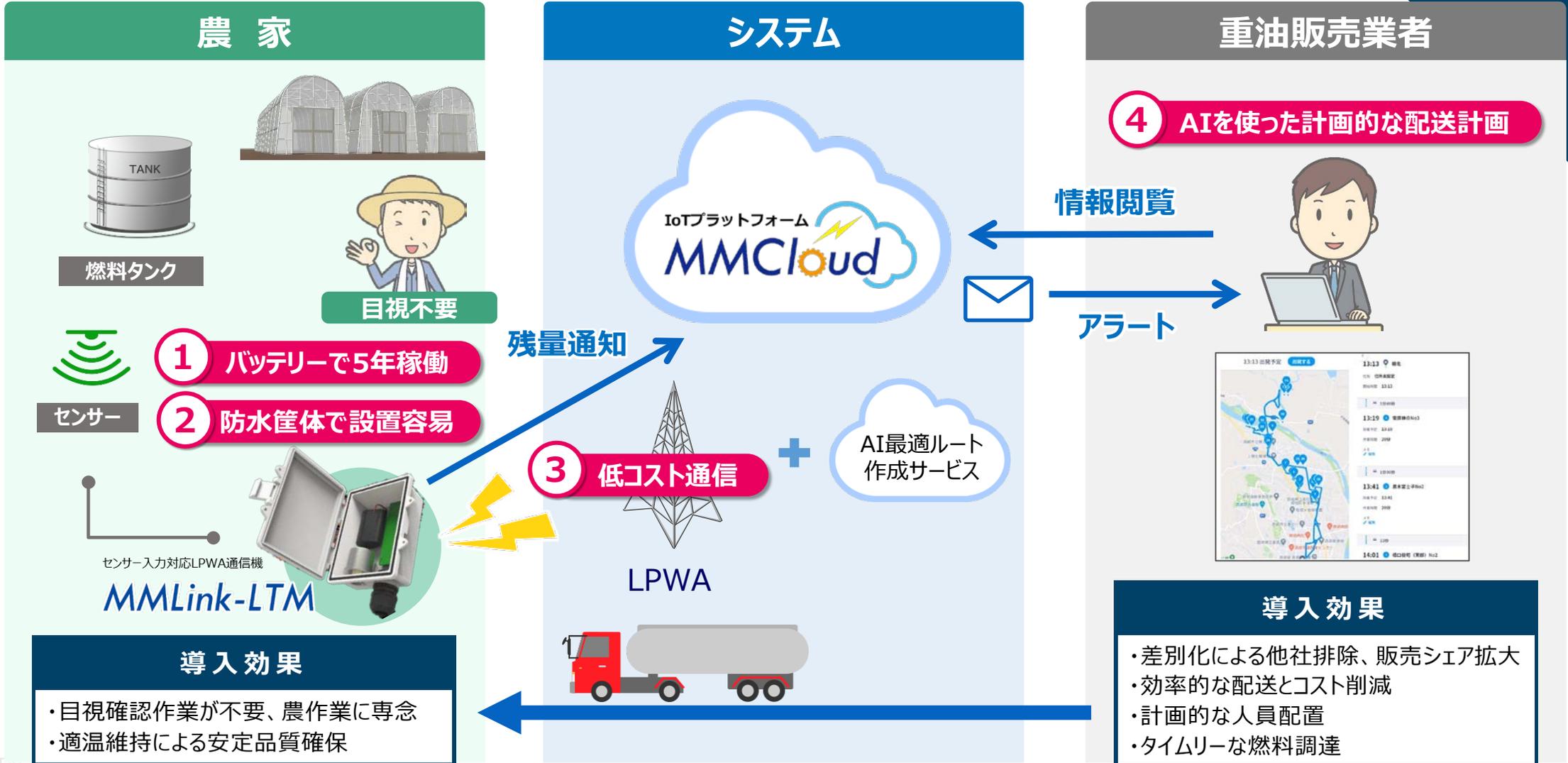
様々な機器を組み合わせて完全自動化可能

- ・メーカーに依存しない付加価値の高い物流機器との連携機能をもった製品をラインナップ。
- ・各機器の特性を活かした物流システムを低コスト・短納期で構築！

※写真はイメージです。

# LPWA遠隔監視サービス 選ばれる4つの理由

## 優位性



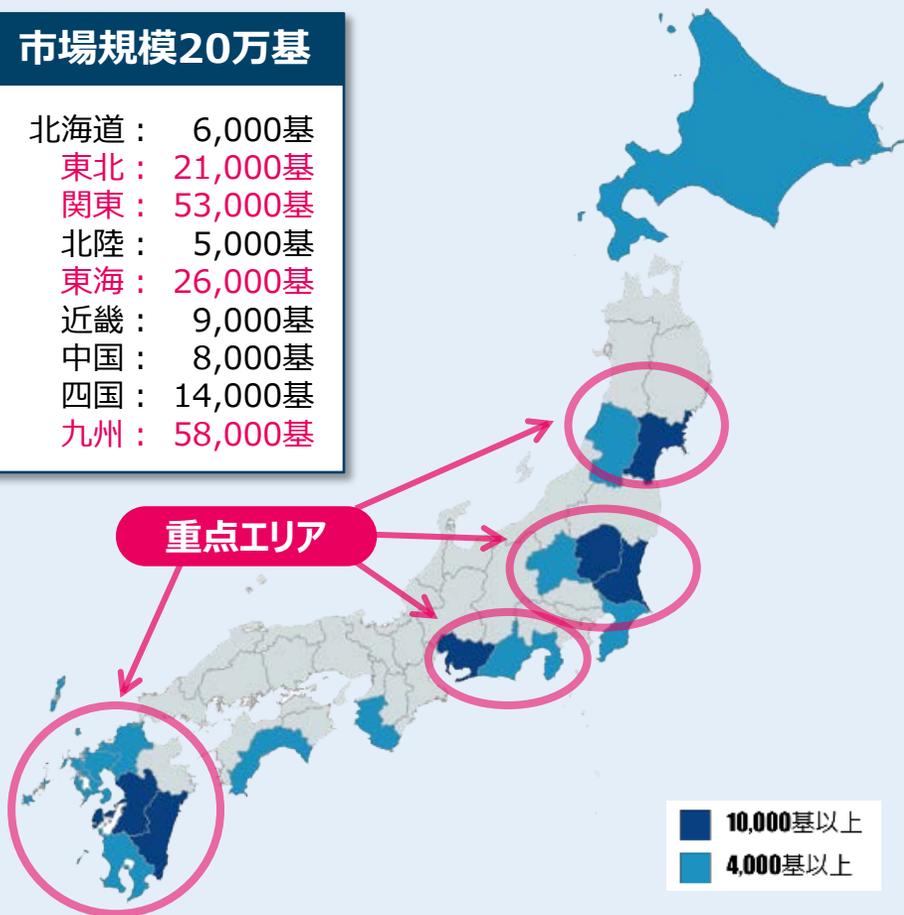
# LPWA遠隔監視サービス シェアNo.1 (10万基) 獲得に向けて

## 事業拡大

### ビニールハウス用燃料タンク分布

#### 市場規模20万基

- 北海道 : 6,000基
- 東北 : 21,000基
- 関東 : 53,000基
- 北陸 : 5,000基
- 東海 : 26,000基
- 近畿 : 9,000基
- 中国 : 8,000基
- 四国 : 14,000基
- 九州 : 58,000基



重点エリア

■ 10,000基以上  
■ 4,000基以上

### 適用分野

### 用途

#### ビニールハウス用燃料



市場規模20万基

ビニールハウスで利用する暖房機用燃料タンクの  
残量監視

九州圏内で5,000基導入済み！

#### 家畜用飼料



市場規模40万基

畜産農家で保有する飼料タンクの残量監視

計測困難な粉体飼料も高精度で計測可能！  
飼料タンク監視のシェアNo.1獲得を目指す！

#### 産業・医療ガス



市場規模20万基

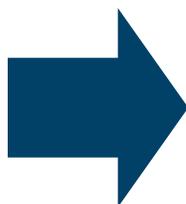
工場、病院等に設置されるガスタンク・ボンベの  
残量監視

産業ガス販売の高松帝酸(株)様にて  
本格運用を開始！

# 画像判定AI MMEye

AI（ディープラーニング）を活用した画像判定サービス。  
従来の検査装置と異なり、個体差のある製品やあいまいな判定基準の判別可能。

目視検査に頼っている食品業界から注目！



## 導入実績

大手食品メーカー **10社**へ導入

さらに



- ・同メーカーのインシェア拡大
- ・同業他社への横展開

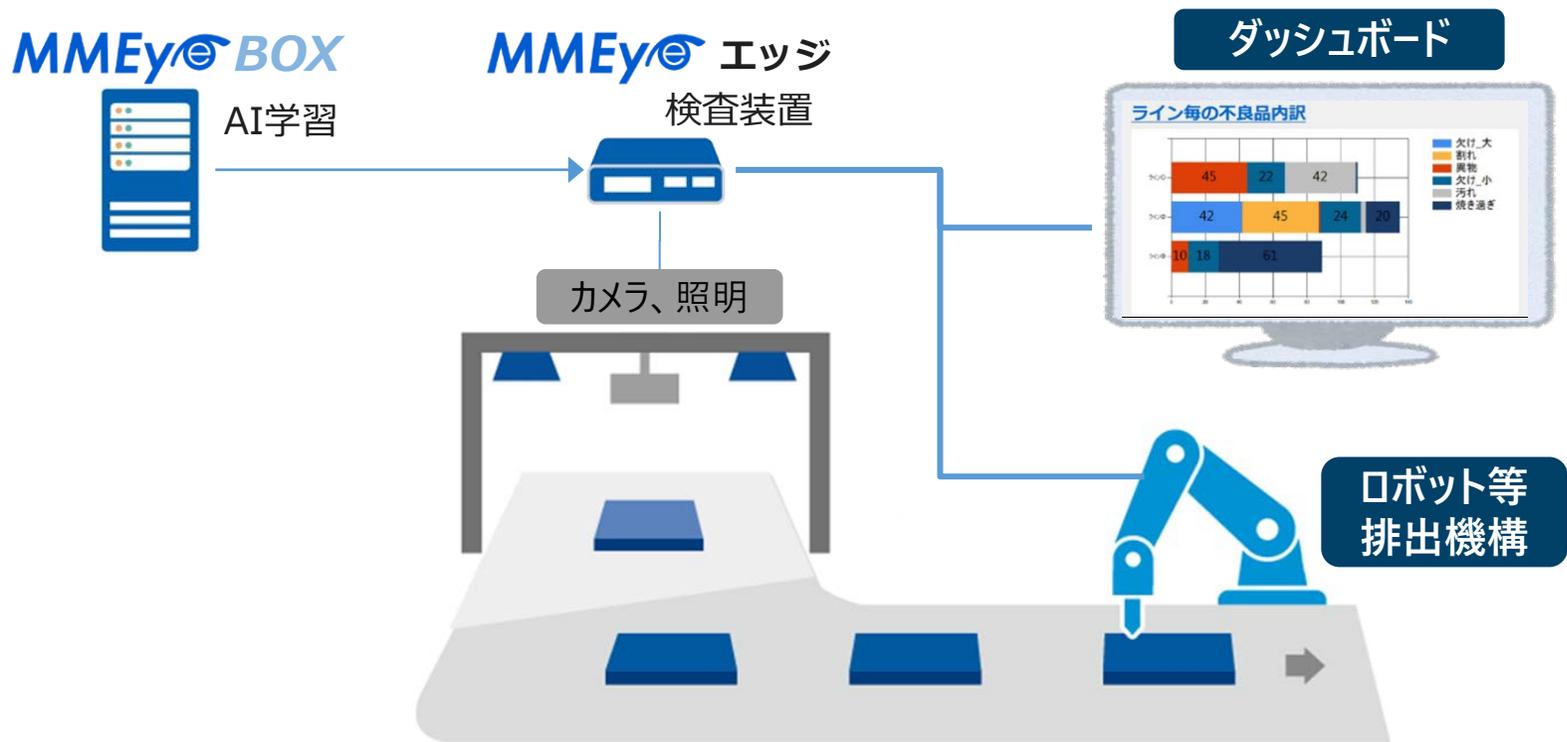
を狙う！

# 画像判定AI MMEye

## 選ばれる4つの理由

### 優位性

- ① 他社製品に比べ、判定精度が非常に高い ※
- ② AI学習（MMEye BOX）から検査装置（MMEyeエッジ）まで提供する唯一のメーカー ※
- ③ ピッキングロボットや排出機構（PLC）との連携を標準搭載
- ④ 不良の発生状況を集計するダッシュボード機能を装備



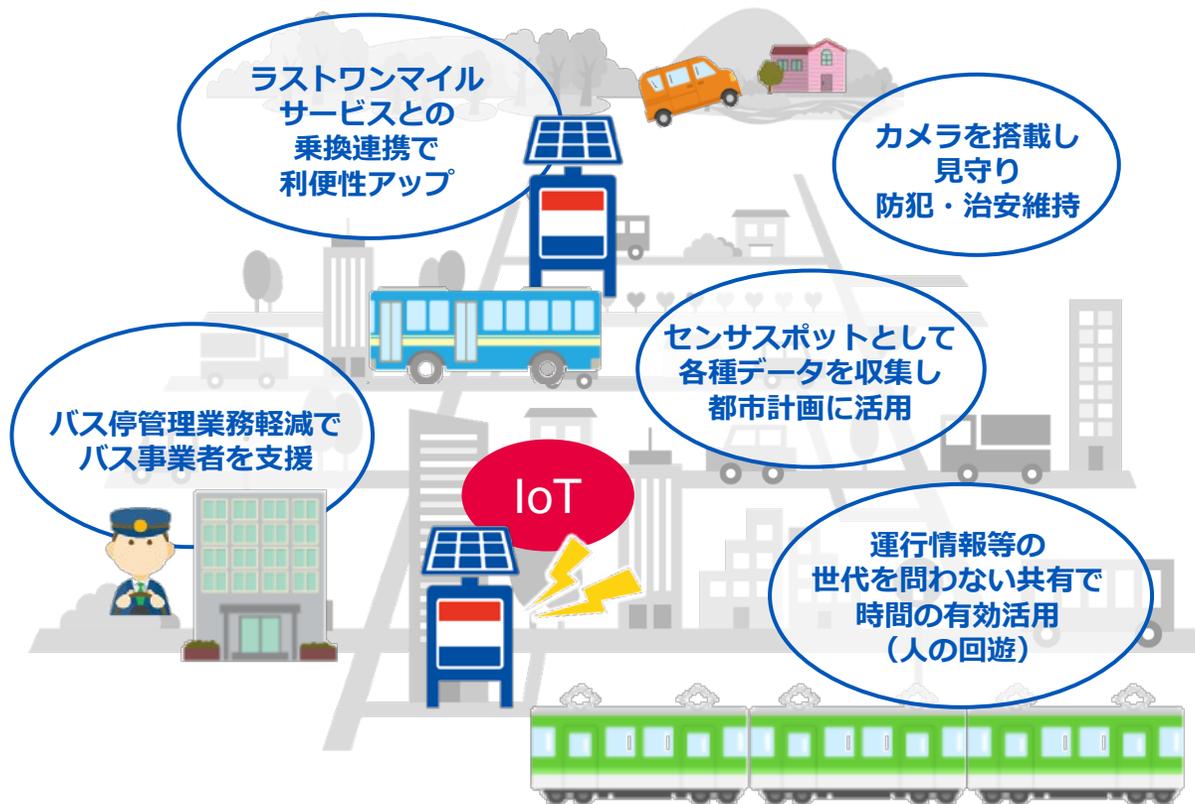
※当社調べ

# スマート化で実現する「サステナブル」社会へ

カーボンニュートラル に向け、スマートシティを支えるツール「スマートバス停」

AI/IoT分野が社会分野に浸透することで、課題解決を実現！

## ▼スマートバス停活用で広がる可能性



バス事業者の働き方改革・業務負担軽減を支援

サービス・利便性向上

高齢ドライバーの公共交通の利用へシフト促進

カーボンニュートラルの促進

情報発信  
情報収集  
スポットとしての活用による最適化促進

サステナブルな社会へ

# 全国に広がる「スマートバス停」

事業者にも無理のないサステナブルなシステムを提供

- ・電源を確保できる繁華街では、広告配信などで収入を確保
- ・電源がなく利用者も少ない場所では、省エネと配信量のバランスを重視

2021年春には  
利用者が15事業者に！  
続々！本格導入フェーズへ



砂津バス停(北九州市)

## 繁華街モデル (タイプA)

- ・豊富な情報量で利便性向上。
- ・現在時刻の時刻表の文字を大きく表示
- ・バスの運行情報表示
- ・動画広告表示



勝山バス停(北九州市)

## 楽々モデル (タイプD)

- ・電源、ネットワーク配線不要。
- ・電子ペーパー採用で省エネ。
- ・電池駆動で数年間稼働可能。



博多深見パークビルディング(福岡市)

## モビリティサービスクラウドへ拡大

バス停というスコープを超え、交通情報をもっと広く発信！  
公共交通機関の利便性向上(円滑な乗り継ぎ支援)、  
時間の有効活用(人の回遊の誘導)を促進。



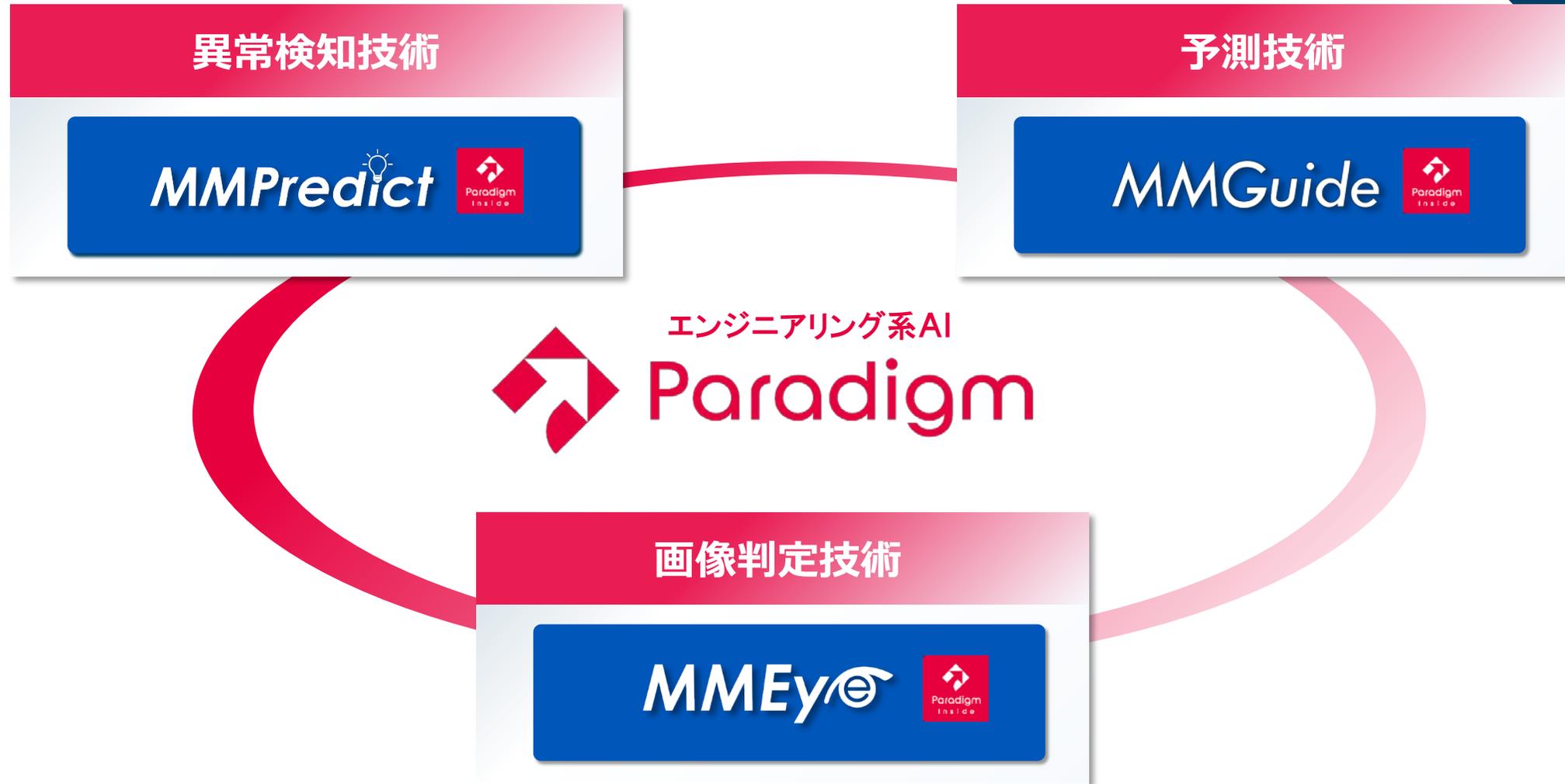


# TOPを走り続ける AI技術戦略

# AI技術戦略

常に**“最新のAI”**技術の開発に取り組み、  
**“他社を圧倒するソリューション”**  
に進化させていく

# 当社のAI技術と製品

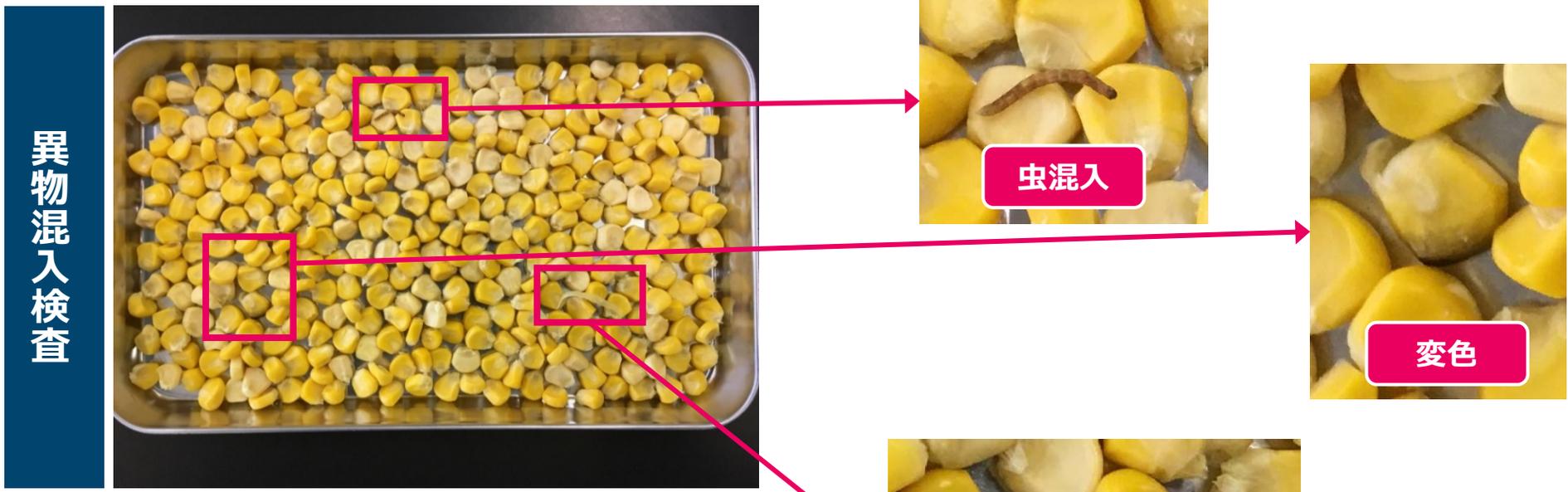


# 画像判定を支えるAI技術①

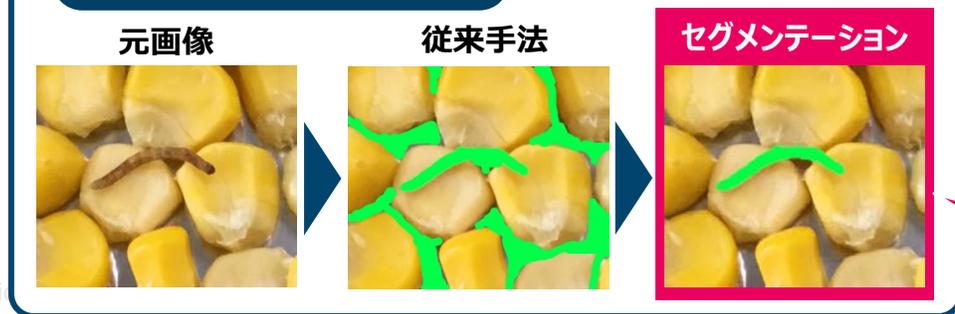
当社独自技術  
特許出願中

## 判定精度アップ！ セグメンテーション技術

画像判定を画素レベルで行うことで虫や皮など非常に小さい異物を検知可能



### 従来手法との比較



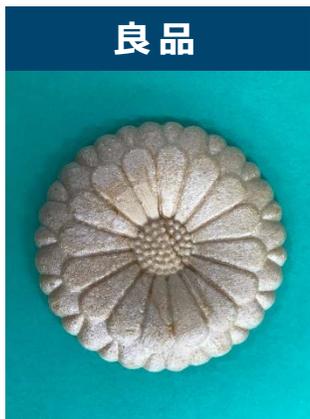
検出精度が各段に向上

# 画像判定を支えるAI技術②

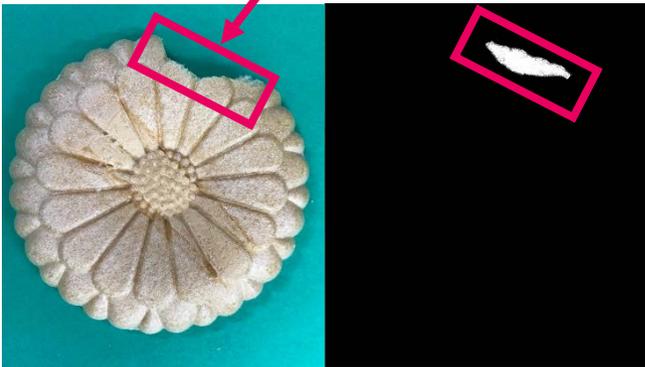
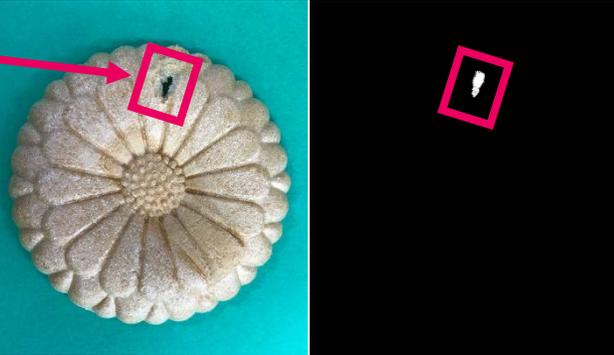
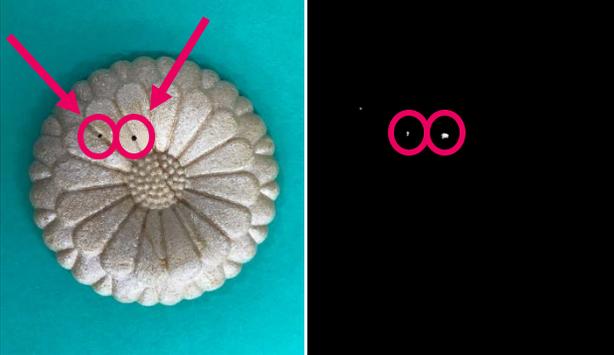
## 不良品検出システムの早期立ち上げに！ アノマリー検出技術

当社独自技術  
特許出願中

正常品画像学習のみで異常を高精度に判定。  
不良品画像収集が困難、サービスの早期導入をご希望のお客様に。



良品以外

<p>バリ</p> 	<p>リップ欠け</p> 
<p>表面欠け</p> 	<p>黒点</p> 

良品からの乖離が  
大きい不良箇所を  
白色で表示

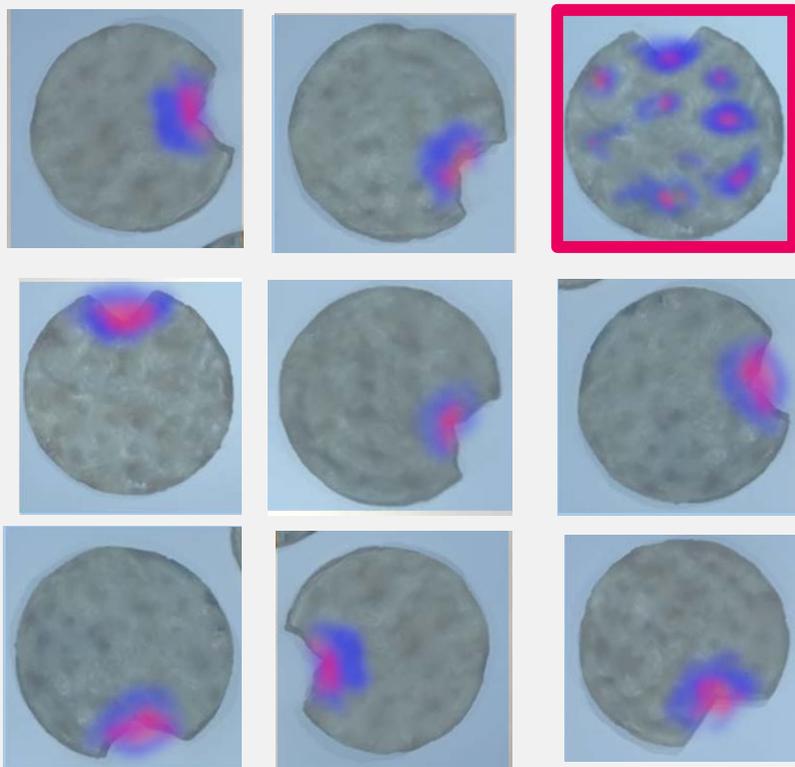
# 画像判定を支えるAI技術③

判定精度の向上に！ Attention機構

当社独自技術  
特許出願中

ブラックボックスと言われたディープラーニング中身を可視化。  
この技術を応用すると・・・

クッキー「欠け」の学習画像



Attentionを見ると、欠けだけでなく、  
表面の焦げ目にも着目している。



これを除外することで、判定精度が  
91%から99%に向上。

# 画像判定を支えるAI技術④

## 食品表示法の判断に！ 面積算定技術

当社独自技術  
特許出願中

食材表面の面積算定を応用し、食品表示の具材配合量チェックが可能！



**食品表示の例**

名 称	ピザ
原材料名	ピザクラスト(小麦粉、ショートニング、植物油脂、パン酵母、食塩、ぶどう糖、脱脂粉乳)、ピザソース(トマトベースト、砂糖、にんじん加工品、玉ねぎ、なたね油、食塩、果糖ぶどう糖液糖、りんごピューレ、香辛料、りんご果汁)、ナチュラルチーズ、コーン、膨張剤、加工デンプン、乳化剤、調味料(アミノ酸等)、(一部に乳成分・小麦・大豆・りんごを含む)

**配合量チェック結果 (面積×比重で判定)**

チーズ	28%
コーン	31%

チーズよりコーンが多いと食品表示法違反！

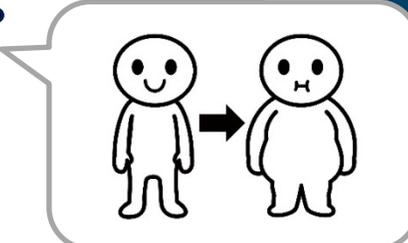
コゲ、色異常、トッピングもれなどの不良検査と同時に配合量もチェックできる。

# 画像判定、さらなるAI技術進化

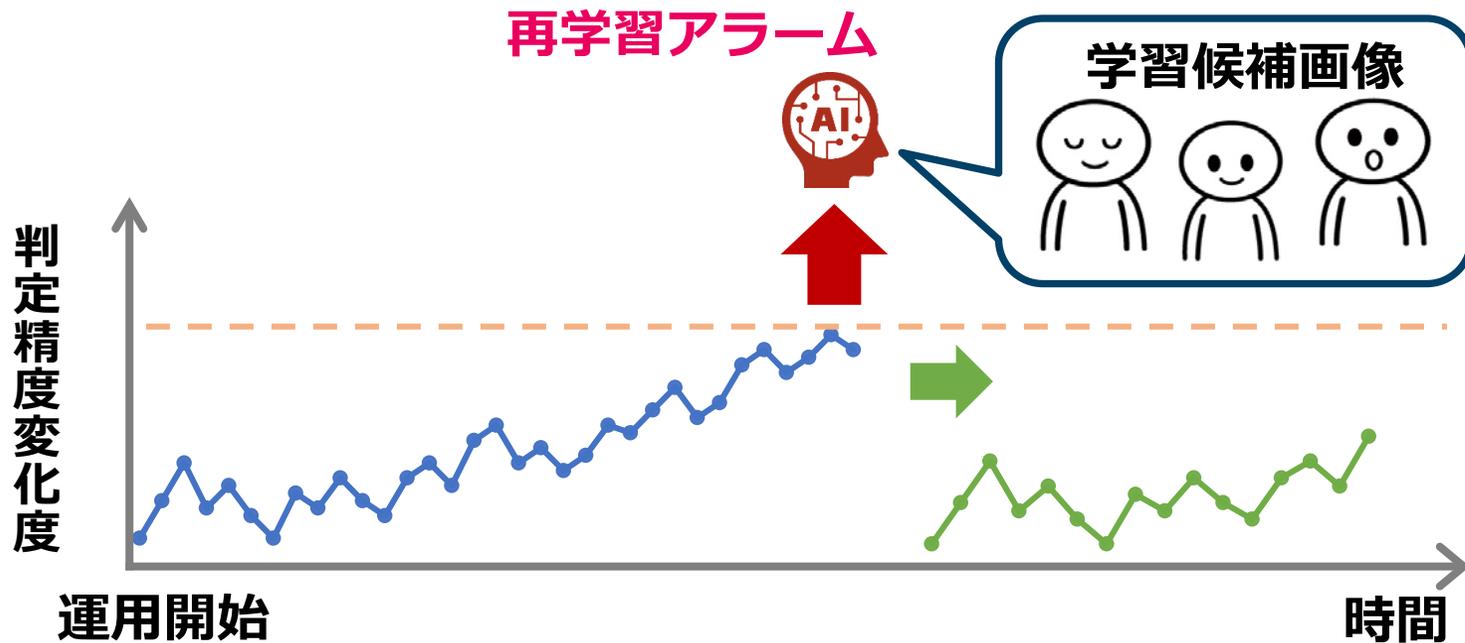
## 判定精度の変化を検知！ AI精度監視技術

当社独自技術  
特許出願中

AIを運用しているうちに、判定精度が低下してきた・・・  
これはコンベアの色変化などを学習した時の画像と運用中の画像に差が生じることが原因。



**精度監視AI**は判定精度の変化度を算出し、  
再学習を促すとともに、再学習すべき候補画像を自動で抽出！





 [www.ye-digital.com](http://www.ye-digital.com)

【免責事項】

本資料に記載されている業績の見通しおよび中期的な経営目標等、将来予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向等、様々な要因の変化により、これらの将来予測とは異なることがあることをご承知おきくださるようお願いいたします。